

新型コロナウイルス感染防止のために

基本的感染対策について

5類移行後の日常における基本的感染対策については、一律の対応を求めるのではなく、**個人の判断に委ねることが基本**となります。

●換気、手洗いや手指消毒等の手指衛生

基本的感染対策として引き続き有効です

●マスクの着用は個人の判断が基本 ※事業者の感染対策などでマスク着用が求められる場合があります。

①マスク着用が効果的な場面

- ・医療機関受診時・医療機関や高齢者施設などの訪問時
- ・混雑した電車やバスに乗車する時（通勤ラッシュ時など）

②有症状者、新型コロナ陽性者、陽性者の同居家族の方

- ・通院等やむを得ず外出する時は、人混みは避け、マスクを着用



流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

●三密の回避、人と人との距離の確保

流行期に高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが有効です。

感染拡大に備えて事前の準備を！

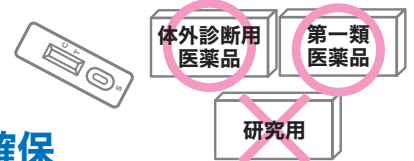
準備1 ワクチンの接種を検討

令和5年度も、自己負担なしで新型コロナワクチンを接種できます。



準備2 セルフチェックのための新型コロナ抗原定性検査キットを確保

取扱薬局・薬店で薬剤師に相談し購入（インターネット購入可）
国が承認した検査キットを選び、早めに準備を！



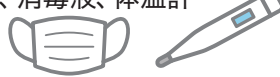
準備3 療養に必要な体温計や解熱鎮痛薬、食料品等を確保

次の例を参考に、食料品や日用品を備蓄しましょう。

- ・薬（常備薬、服薬中の薬、解熱鎮痛薬）



- ・マスク、消毒液、体温計



- ・体調がすぐれないときでも食べやすいもの、調理不要な食料品



- ・水、スポーツ飲料など



- ・その他生活に欠かせないもの（コンタクトレンズ、乳児用のミルク、離乳食、おむつ、生理用品、トイレトペーパーなど）



発熱等の症状がある場合は、無理せず医療機関へ

- かかりつけ医や身近な医療機関を受診する際は、必ず予約や連絡をしてから受診してください。医療機関を受診や訪問する際は、マスクを着用しましょう。

医療機関の検索は府ホームページ

大阪府 外来対応医療機関

検索

- スマホやパソコンで検索できない場合

堺市新型コロナ受診相談センター

TEL 072-228-0239【土・日曜日、祝休日も開設】

FAX 072-222-9876【平日の9時から17時30分まで（祝休日、年末年始を除く）】